

【指定就労継続支援 A 型事業所 経営改善計画書】

事業所名称	おあしす		代表者氏名	酒井 昭枝	
事業所所在地	岡山市北区東古松1-1-28				
連絡先	電話番号	086-206-1100		FAX番号	086-206-1101
職員数	12	定員	20	利用者数	37 (うち身体 7 知的 15 精神 15 その他)
事業所の設置主体	社会福祉法人 ・ 民間企業 ・ NPO法人 ・ <u>その他</u>			設立年月日	2010/8/6
改善計画期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日 (1年間)				

1 現在、指定基準条例第182条第2項（賃金及び工賃）を満たすことができていない理由と具体的改善策
(詳細かつ具体的に記載すること)

(未達成理由) 収益の良い仕事を受託できない。 利用者の作業能力に差がある。 就労先が少ない。	(具体的改善策) 清掃の能力の向上。 仕事の情報収集。 収益の良い仕事を取る。 職員一同、収益アップの努力をし協力し合って達成を目指す。
--	--

2 現在の事業内容及び改善計画期間を通じて実施する事業内容

現在の事業内容	改善計画期間を通じて実施する事業内容
ビジネスホテルの清掃 清掃作業 (大学・駐車場・事務所等) 手作業	ビジネスホテルの清掃 清掃作業 (大学・小学校プール・駐車場・事務所等) 他ホテルの清掃作業 清掃業務、軽作業の仕事を取るようになっていく。

(※) 事業内容には、生産活動の内容、対象顧客、市場動向、競合相手の動向、改善後の事業内容に主に従事する者の数や属性 (どのような資格、経験等を持った者が担当するか等) について詳細に記載すること

3 現在の生産活動に係る事業の収入額及び改善計画期間を通じて基準適合を達成する事業収入目標額 (1年間の額を記載)

現在の収入額	改善計画期間を通じて達成すべき目標収入額
7,592,689円	9,300,000円
(主な費目) ホテル清掃 6,270,000円 清掃作業 640,929円 手作業他 681,760円	(主な費目) ホテル清掃 7,200,000円 清掃作業等 2,100,000円

(注) 目標収入額は、積算根拠に基づいた実現可能性のある数値であること。

4 現在の生産活動に伴う経費及び改善計画期間を通じて基準適合を達成する必要経費の見込額 (1年間の経費を記載)

現在の経費	改善計画期間を通じて見込まれる経費
1,696,357円	1,800,000円
(主な費目) 福利厚生費費 167,523円 施設管理費 1,200,000円 通信費 58,060円 光熱給水費他 270,774円	(積算根拠) 福利厚生費 234,000円 施設管理費 1,200,000円 通信費 66,000円 光熱給水費他 300,000円

5 現在の生産活動に係る収益額及び改善計画期間 (基準適合の目標期間) 後の収益の見込額

現在の「収入－経費」	改善計画期間後の「収入－経費」
5,896,332円	7,500,000円

6 現在の利用者の総賃金額及び改善計画期間 (基準適合の目標期間) 後の利用者の総賃金額

現在の支払い総賃金額	改善計画期間後の支払い総賃金額
36,293,617円	36,000,000円
(積算根拠) 令和4年4月～令和5年3月に利用者に支払った給料を合計した金額	(積算根拠) 時給×4時間×269日×35名+交通費等

※「現在」はいずれも、就労支援事業活動収支状況確認票の今期実績のものを記載すること。

経営改善計画期間中の具体的改善策と実施時期等

項目	課題	実施期間	具体的な改善策
作業能力の向上	清掃作業技術・作業能力	令和5年4月～令和6年3月	①利用者の作業能力を掴む。②各々に合った研修を実施する。 ③必要に応じて資格を取る。
収益アップ	収益の良い仕事を受託する	令和5年4月～令和6年3月	①大学清掃の仕事は引き続き受託する。他に小学校のプール清掃を受託した。 ②他のホテル清掃の仕事の受託をしていく。
経費節減	ムダを無くす	令和5年4月～令和6年3月	①備品は大切に使用する。②光熱水道を大切に使用する。 ③備品の購入については、価格・必要性を考慮し、無駄の無いようにする。

(注) 経営改善を行う項目(例：営業体制の強化、経費削減、販路拡大等)を記載するとともに、課題を記載し、その課題に対応するための実施期間と具体的な改善策をそれぞれ記載する。適宜欄は追加する。

(計画期間中の見込額)

(千円)

令和5年～6年		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
収益	就労支援事業収益 ①	600	600	600	750	750	750	800	800	850	850	850	1,100	9,300
	就労支援事業活動収益計② (=①)	600	600	600	750	750	750	800	800	850	850	850	1,100	9,300
費用	就労支援事業販売原価③ (=④+⑤+⑥-⑦)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	期首製品(商品)棚卸高④													
	当期就労支援事業製造原価⑤													
	当期就労支援事業仕入高⑥													
	期末製品(商品)棚卸高⑦													
	就労支援事業販管費⑧	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	1,800
	就労支援事業活動費用計⑨ (=③+⑧)	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	1,800
	就労支援事業活動増減差額⑩ (=②-⑨)	450	450	450	600	600	600	650	650	700	700	700	950	7,500
	支払い賃金総額⑪	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	36,000

利用者への支払い賃金は費用に含めず、支払い賃金総額⑪へ記載すること。

(前年度実績)

(千円)

令和4年～5年		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
収益	就労支援事業収益 ①	493	500	518	642	601	631	642	664	607	609	609	1,077	7,593
	就労支援事業活動収益計② (=①)	493	500	518	642	601	631	642	664	607	609	609	1,077	7,593
費用	就労支援事業販売原価③ (=④+⑤+⑥-⑦)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	期首製品(商品)棚卸高④													0
	当期就労支援事業製造原価⑤													0
	当期就労支援事業仕入高⑥													0
	期末製品(商品)棚卸高⑦													0
	就労支援事業販管費⑧	141	141	141	141	141	141	141	141	141	142	142	142	142
	就労支援事業活動費用計⑨ (=③+⑧)	141	141	141	141	141	141	141	141	142	142	142	142	1,696
	就労支援事業活動増減差額⑩ (=②-⑨)	352	359	377	501	460	490	501	523	465	467	467	935	5,897
	支払い賃金総額⑪	2,972	3,189	2,919	3,022	3,096	2,914	3,217	2,974	3,021	3,135	2,747	3,088	36,294

着色セルは自動計算されます。また、金額には3桁ごとにカンマが入り、マイナスの場合は先頭▲が付くよう設定しています。